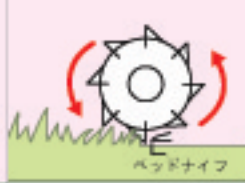
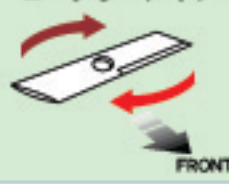
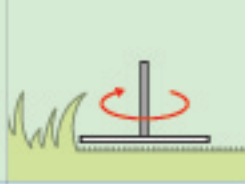
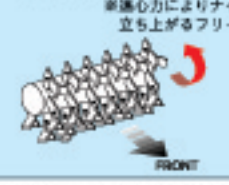
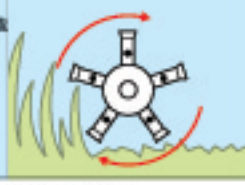


	刈 刃	作業模式図	刈込対象	作業場所	刈上がり	刈 高	1回に刈れる高さ
LMシリーズ	リールカッター 		芝生	良い	良い	短い	短い 2~5cm
GMシリーズ	ロータリーナイフ 		芝生・雑草	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう 5~15cm
HMシリーズ	ハンマーナイフ ※遠心力によりナイフが立ち上がるフリー刃構造 		芝の濃い雑草	悪い	粗い	ふつう	長い 10cm以上

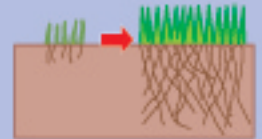
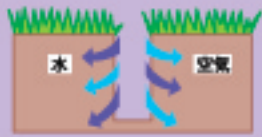
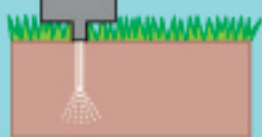
BARONESSの各シリーズは、刃物部の形状が違います。

仕上がり、使用場所により最適な作業ができるよう目的にあった機種をお選び下さい。

芝管理

美しい緑の芝生を保つためには、様々な管理作業を行わなければいけません。

共栄社では、芝管理作業の効率化、省力化のために各種の機械を開発、提供しております。

目 土	芝表面に細かくふるった土をかけ、芝の伸長・発根を促し、芝生を緻密に保つために行います。芝の茎は、7~9節の節からなり、その節から芽や根を出します。目土で覆うことによって、芝の上部の節からも根を生じさせることが出来、ターフが厚くなってゆきます。 作業機械 ・ MS400・ MS300・ MS25A・ MS 0A	
肥 料	緑深く、鮮やかな色を保ち、地表面を均一に覆うよう、成育を旺盛にするため、肥料を補給する必要があります。施肥には元肥と追肥とがあり、切り芝を張り付ける時床土に施すのが元肥、芝草の成育中に施すものを追肥といいます。 作業機械 ・ MS300・ MS25A・ AccuPro2000・ SS-2	
エアレーション	芝が育つにつれ、次第に土壌が固まり、根のために悪い状態となります。そこで、穴アケ(エアレーション)を行うと、密生した根茎をほぐし発根を促し、通気、通水性をよくして、芝生を若返らせることができます。 作業機械 ・ GA1100A・ GA7000・ TDA1200・ TDA1600	
スライシング	芝生は年数を経るごとに老化してゆきます。老化した芝を再生させるために、芝生の根を土表に対して垂直に切断します。成育が旺盛になる時期に先駆けて実施するのが効果的です。 作業機械 ・ GS500B・ TGS110A	
落葉・コアひろい	エアレーション作業によって生じたコアや、茎葉の刈りカス(サッチ)枯れ葉などの除去等の、芝の表面部の状態をよくするための作業は、芝の育成上、大切なことです。 作業機械 ・ FS800・ FS70・ SB81	
消毒・除草	芝の育成において一番恐ろしいのは病害虫ですが、一番手間がかかるのが雑草の防除です。雑草対策には除草剤を散布する。よく発生する所は芝を高刈りする。発見次第手抜きするの3点があります。病虫害も除草も早期発見が第一です。 作業機械 ・ TS500	
芝 刈 り	芝を自然のまま放置しておくと、茎が伸びて、やがて穂をつけ、雑草のようになってしまいます。刈り込みを怠り、伸びすぎるだけでも、光線の透過や風通しが悪い、蒸れた状態となり、病虫害にかかりやすくなります。 作業機械 ・ LMSERIES・ GMSERIES	